

### 3 重点プロジェクト

基本構想に掲げる将来像を実現するうえで、特に重要となるテーマを計画期間の「重点プロジェクト」と位置づけ、7つの基本指針の枠を越えて横断的に取り組みます。



(将来像)

世代を超えて住み心地の良い、  
温もりと笑顔がほころぶまち

(まちづくりの基本理念)

「職・住・育プラス遊」  
～未来に希望が広がるまちづくり～

基本方針1 暮らし

日々の安心と、ちょうどいい日常のあるまち

基本方針2 保健・医療・福祉

一人ひとりの生涯に寄り添うまち

基本方針3 産業・地域経済

暮らしに活気と賑わいがあふれるまち

基本方針4 環境保全

地域目線で考え、地球規模の行動を興すまち

基本方針5 教育・文化

郷土を守り、未来を担う人を育むまち

基本方針6 交流

人とまちの想いをきびるまち

基本方針7 住民協働・行財政運営

持続可能な明日を築くまち

暮らし続けたい、訪れてみたい  
楽しみ・魅力の創出

分野を横断して推進

01

地域防災

地域と備える安全安心  
プロジェクト

02

ともに育む。

出会い・子育て支援  
プロジェクト

03

環境共生

ゼロカーボン推進  
プロジェクト

04

デジタル化

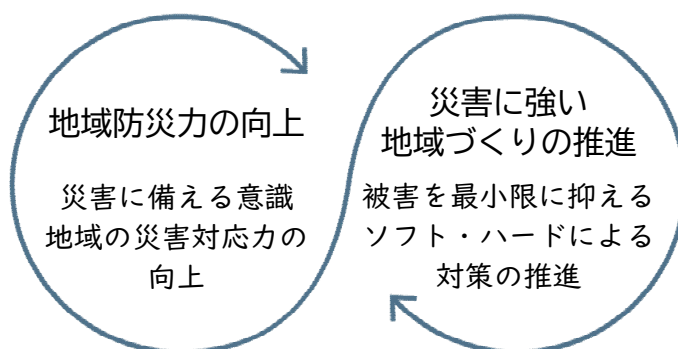
Society5.0  
プロジェクト

## 地域防災 地域と備える安全安心プロジェクト

プロジェクトの  
目指す  
まちづくり

令和5年7月の九州北部を襲った豪雨災害を教訓に、想定を超える様々な自然災害から住民の生命、財産を守るため、自助・共助・公助の基本的な考え方のもと、町内の被害を最小限抑える予防対策、応急対応力の強化とともに、地域や関係機関等との協働による地域の防災体制を目指します。

### 【プロジェクトの取組概要】



### 災害の教訓を生かし、地域と町が連携して ともに行動する防災対策

- ハザードマップを通じて地域の危険箇所や避難行動、備蓄の必要性等を周知し、自身や地域で災害に備える意識を高めるほか、自主防災組織の育成、体制強化を推進します。
- 災害時に支援が必要な方が、逃げ遅れ等により生命の危険に直面することがないよう、避難行動要支援者の把握等、避難支援対策を地域と共に推進します。
- 令和5年7月豪雨災害で損壊を受けた道路・河川・橋梁等の公共土木施設について、早期復旧に務めます。また、住宅の浸水対策を図るため、国・県と連携し、河川改修や井堰の改修等を進めるほか、災害時の早期対応につながる情報収集対策に取り組めます。
- 災害時において現場と災害対策本部がリアルタイムで災害現場情報の迅速な共有化を図れるよう、デジタル技術を活用した対応力の強化に努めます。

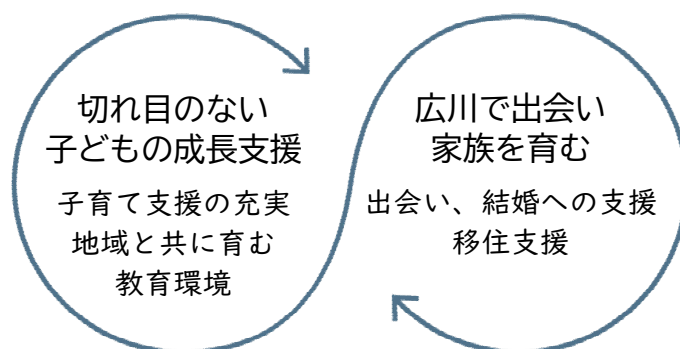
## ともに育む。 出会い・子育て支援プロジェクト

プロジェクトの  
目指す  
まちづくり

本町で結婚や出産を希望する人が、望む家族のかたちを実現し、健やかに子どもたちが成長できるよう、婚活、妊娠、子育て、教育まで総合的に支援する環境を地域全体で整えていきます。

また、UI ターン、移住希望など、様々なかたちで本町に暮らす“選択”の受け皿となる地域づくりに努めます。

### 【プロジェクトの取組概要】



### 婚活、妊娠、子育て、教育まで総合的に支援 移住・定住の受け皿となる地域づくり

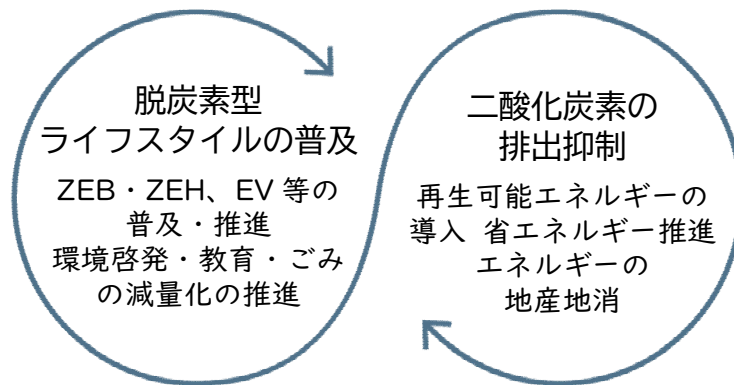
- 出会いの場づくりを支援するほか、移住定住を希望する方へ自らが望む人生設計が実現できるよう、様々な局面で必要な支援を行います。
- 子どもの成長を第一に考え、地域の子育て支援、切れ目のない子育て支援、地域と共に育む小中連携による教育環境等により、健やかな子どもの成長を地域で育み、婚活、妊娠、子育て、教育まで総合的に支援を行います。
- 子育て支援センター「ハグハグ」や子どものあそび場「ハコボックス」など様々な楽しみや交流につながる場を提供します。  
また、老朽化が進む竜光寺公園については、遊具やトイレ等の公園施設のリニューアルを進め、子育て世代のニーズの反映に努めるとともに、世代を問わず憩いや安らぎ、健康づくりにつながる場となるよう整備します。

## 環境共生 ゼロカーボン推進プロジェクト

プロジェクトの  
目指す  
まちづくり

令和4年12月の「広川町ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、再生可能エネルギーの導入、官民連携による省エネルギー対策などの二酸化炭素排出抑制により、2050年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロの実現を目指し、かけがえのない財産である豊かな自然環境を未来の世代へ引き継いでいきます。

### 【プロジェクトの取組概要】



### 2050年までに温室効果ガス排出の実質ゼロを実現

- これからの地球温暖化対策やその必要性を多くの町民や事業者に広げ、行動に結びつけるための意識啓発・支援を行い、町民や企業、行政が、それぞれの役割のもと脱炭素を目指して行動する脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルの普及を図ります。
- 太陽光等の地域共生型再生可能エネルギーの導入と省エネ効果を高める高効率機器の導入を進め、二酸化炭素の排出抑制し、官民一体となって脱炭素化を推進します。
- FIT 依存の脱却から建物屋根・壁面に太陽光発電を設置し、自家消費を行うオンサイト型の導入のほか、離れた箇所で自家消費または地産地消を行うオフサイト型の導入といった自家消費型再エネの導入を進め、エネルギーの地産地消を図ります。

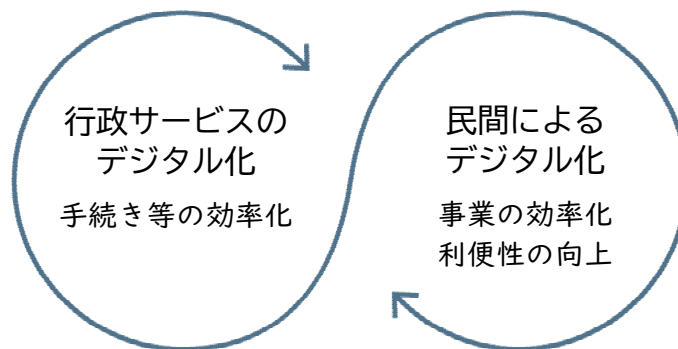
## デジタル化 Society5.0 プロジェクト

プロジェクトの  
目指す  
まちづくり

行政サービスをはじめ、民間の様々な分野でデジタル技術を活用した事業構造の改革、住民生活、経済活動のオンライン化など、企業活動や暮らしの利便性の向上、新たな価値の創出につながるデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進します。

また、住民の誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう、情報格差をなくすなど、誰ひとり取り残さないデジタル化を推進します。

### 【プロジェクトの取組概要】



### デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進

- 行政分野では、デジタル技術を活用し、「いつでも」「どこでも」「わかりやすく」利用できる住民目線の行政サービスを提供するとともに、業務の効率化による新たな働き方を実現することにより、行政の質の向上につなげます。
- 民間分野では、デジタル人材の確保・育成とともに、デジタル技術を活用した生産性・利便性向上を加速化させ、暮らしや産業の成長・発展につなげます。
- 年齢、障がいの有無、経済的な理由などに関わらず、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう情報格差の是正に取り組みます。